



06 株式会社 花田建設

はなだけんせつ

岩木山を望む大地で健康果実「カシス」栽培 素晴らしさ 一人でも多くの人へ

06-1

偶然目にした新聞記事にインスピレーション

「本業は建設業ですが、実家は先祖代々から農業をやっています。今、カシスを作っている農地は、もともと親戚がブドウを作っていました」—こう話すのは、建設業を営みながらカシス栽培に取り組んでいる株式会社花田建設の花田實社長。弘前市にある同社では、市役所発注の下水道工事や、県発注の河川改修などの公共土木を中心に事業を展開。十数年前から新分野への取り組みをスタートさせました。



花田建設が販売するカシス加工品

カシスの収穫は7月中旬～下旬に最盛期を迎える

新分野進出の経緯について花田社長は「まず、農地を持っていたこと、建設業で抱えている作業員の働く場所を確保する必要があったことが大きいです」と振り返ります。カシス栽培を始めた平成18年(2006年)当時は、懸念されていた公共投資の先細りが現実のものとなりつつあり、公共工事を軸に営業していた同社では、現場がない作業員の労働力をどう生かすかが課題となっていました。そこで花田社長は、自身の持つ農地を活用し、建設業の労働力を農業で生かそうと考えます。



栽培しているカシスは大粒なものなど3品種

当時は企業が農業に参入するには法律上のさまざまな制約がありましたが、司法書士に相談するなどして農業への参入を果たし、花田建設として本格的にカシス栽培に取り組むこととなります。

そもそも、カシス栽培に取り組もうと決めたきっかけは、カシス研究の第一人者である弘前大学の加藤陽治教授(当時)を取り上げた地元新聞の記事を偶然目にしたことから。カシスの持つ成分が目に良いという内容の記事を読んだ花田社長は『これだ!』と確信します。「今の時代、誰もがパソコンなどで目を酷使するので、これはちょうど良いのではと考えました」。



左からサイダー、ドレッシング、ドリンク、ジャム、キャンディー



花田社長と、社長の長女で販売を担当する金枝奈穂美さん

06-2

県などの支援を受け加工品を次々開発

農地もあり、働き手もいる。そして栽培する作物も決まり、いよいよ花田建設の新事業が本格化します。最初は200本の苗木からスタートしたカシス栽培でしたが、さらに800本の苗木を購入。本格的な事業スタート時には5000平方メートルの土地で1000本のカシスを栽培するに至りました。

カシスは、生果では一週間ほどしか持たないため、扱う商品は加工品が中心。加工品の開発に向けた勉強をしなければならなかったと考えた花田社長は、研修のため21あおり産業総合支援センターに通いつめ、同センターのチーフアドバイザーを務める加藤哲也氏からアドバイスをもらいながら、試行錯誤の末にジュースとジャムの商品化にこぎ着けます。

さらに、加藤氏から紹介された県監理課の建設産業新分野進出ブラッシュアップ事業を活用し、すでに商品化していたジャムの完成度を高めたほか、濃縮タイプのドリンクや、ドレッシング、キャンディーなどの新商品を開発。さらに、商品名には花田建設の屋号である「花岩」を使い『花岩カシス』と名付けました。

カシスの良さ引き出す新商品にも意欲

商品はすべて委託製造で、現在は、ドリンクやジャム、サイダー、ピューレなどを販売しています。人気商品の『はちみつカシスサイダー』は、大人から子供まで誰でも飲めるようにと開発。使用するハチミツはアカシアのハチミツしか使わないというこだわりようで、お客さんからの評判も上々です。



カシスの効能について笑顔で話す花田社長

「カシスにはアントシアニンなどのポリフェノールが豊富に含まれ、緑内障の進行を遅らせる効果があるとされています。また、血流を良くする効果があり、即効性と持続性に優れているため、スポーツ選手などにも愛用者が多いそうです」と花田社長。カシスの持つ成分がもたらす効能は、健康志向の高まりから以前よりは広く知られるところとなりましたが、花田社長はその優れた成分を損なわずに上手く引き出すことが加工品開発の肝だと考えています。「一つ納得のできる商品ができれば弾みがつくはず。いつでも気軽にカシスの栄養素を補給できるサプリメントのような商品ができれば」と先を見据えています。



収穫は手作業で一粒一粒でいねいに行う

建設業とのバランスをとりながら農業に取り組んでいる花田社長。「農業は難しい。土木は計算できますが、農業は計算できませんから」と笑いながらも、建設業で培った知名度と人とのつながりがカシス事業にも活かされていることに感謝の言葉を述べます。「最近ではカシスの良さをわかってくれている人も増えてきています」。カシスの良さ、素晴らしさを一人でも多くの人に伝えたい。そのためには、まず自分が納得する商品開発を一。花田社長はカシスの可能性をこれからも追い続けます。



岩木山を望む50アールの農地で1000本のカシスを栽培

株式会社 花田建設



038-3615 青森県弘前市大字青女子字桜苅 339-2

tel. 0172-73-3427

fax. 0172-73-3438

<http://www.hanadakensetu.co.jp/>